

## 平成29年3月期 中間決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年11月14日

上場会社名 WBFリゾート沖縄株式会社

上場取引所 東

コード番号 6179

URL <http://www.wbfresort-okinawa.com>

代表者 (役職名) 代表取締役

(氏名) 兼城 賢成

問合せ先責任者 (役職名) 管理部担当取締役

(氏名) 近藤 雅之 (TEL) 098(840)1775

中間発行情報提出予定日 平成28年12月27日

配当支払開始予定日 —

中間決算補足説明資料作成の有無 : 無

中間決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成29年3月中間期の業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

## (1) 経営成績

(%表示は、対前年同期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期中間期	1,285	7.2	117	31.8	81	72.5	53	73.3
28年3月期中間期	1,199	—	88	—	47	—	31	—

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期中間期	1,349 84	—
28年3月期中間期	778 99	—

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期中間期	4,296	111	2.6
28年3月期	3,776	57	1.5

(参考) 自己資本 29年3月期中間期 111百万円 28年3月期 57百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金					
	中間		期末		合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
28年3月期	0	00	0	00	0	00
29年3月期	0	00				
29年3月期(予想)			0	00	0	00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成29年3月期の業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,603	13.2	175	52.1	97	79.0	62	77.8	1,558 50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## ※ 注記事項

- (1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有・
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : ・無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有・
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有・
- ④ 修正再表示 : 有・

## (3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期中間期	40,000株	28年3月期	40,000株
② 期末自己株式数	29年3月期中間期	一株	28年3月期	一株
③ 期中平均株式数（中間期）	29年3月期中間期	40,000株	28年3月期	40,000株

## ※ 中間監査手続の実施状況に関する表示

この中間決算短信は、金融商品取引法に準じた中間監査手続の対象外であり、この中間決算短信の開示時点において、金融商品取引法に準じた中間財務諸表の中間監査手続は終了していません。

## ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、中間決算短信（添付資料）3ページの「1. 当中間決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理及び簡便な会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(3) 追加情報	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 中間財務諸表	5
(1) 中間貸借対照表	5
(2) 中間損益計算書	8
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当中間会計期間における日本国経済は、世界経済の停滞や円高等により設備投資や輸出が減少したものの、公共投資による下支えもあり、全体としては緩やかな回復基調で推移しました。観光業界においては、4月に発生した熊本地震の影響もありましたが、政府主導による訪日外国人観光客の誘致により需要が引き続き拡大しており、当社が主に事業を行う沖縄県においても、観光客数の増加が続いております。

そのような状況の中で当社は、継続したWEB戦略を中心とした販売力の強化と業務の効率化によるコスト削減を主要課題として取り組んで参りました。ホテル事業部門に関しては、既存施設においては客室単価の向上と稼働率の向上の両立に取り組み、またロコミによる知名度の向上などもあり、順調に成果を上げております。那覇の中心地、国際通りのホテルを改装し、本年7月にリニューアルオープンした「ホテルWBFアートステイ那覇」では、写真家の皆様と協力をし、ひとつひとつの部屋にコンセプトをもってアートな空間をお客様に提供するという、県内初の「アートホテル」という試みが話題となりました。また、レンタカー部門に関しましては、車両計画の効率化により、昨年度よりも車両の保有台数が約20%少ない中、同程度の売上を記録し、増益に大きく貢献しております。その他事業においては、瀬長島ウミカジテラスの知名度の向上により連日多くのお客様に来島頂き、増収となりましたが、新規オープン致しました「瀬長島47STORE」における飲食事業の展開遅れ等が影響し、前期に続き厳しい結果となりましたが、最終的には「増収増益」と堅調に推移し、下期においても、引き続き主要課題に取り組んで参ります。

上記の結果、当中間会計期間の売上高は1,285,551千円（前年同期比7.2%増）となり、営業利益は117,050千円（前年同期比31.8%増）、経常利益81,978千円（前年同期比72.5%増）、中間純利益53,993千円（前年同期比73.3%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### (流動資産)

当中間会計期間末における流動資産の残高は763,297千円（前事業年度末は416,824千円）となり、346,473千円増加しました。現金及び預金325,905千円、売掛金45,883千円、商品6,892千円が増加し、その他流動資産47,590千円が減少したことが主な要因であります。

##### (固定資産)

当中間会計期間末における固定資産の残高は3,533,555千円（前事業年度末は3,359,913千円）となり、173,641千円増加しました。建築費用として建設仮勘定124,918千円、リース資産76,650千円が増加し、減価償却に伴い建物が69,519千円減少したことが主な要因であります。

## (流動負債)

当中間会計期間末における流動負債の残高は1,435,871千円（前事業年度末は706,305千円）となり、729,566千円増加しました。短期借入金694,041千円、未払法人税33,409千円、リース債務11,769千円、未払費用11,448千円が増加し、1年内返済予定の長期借入金37,880千円が減少したことが主な要因であります。

## (固定負債)

当中間会計期間末における固定負債の残高は2,749,963千円（前事業年度末は3,013,409千円）となり、263,445千円減少しました。リース債務81,423千円が増加し、長期借入金356,026千円が減少したことが主な要因であります。

## (純資産)

当中間会計期間末における純資産の残高は111,017千円（前事業年度末は57,023千円）となり、53,993千円増加しました。中間純利益が53,993千円発生したことが主な要因であります。

## ②キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、520,643千円となりました。

当中間会計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間会計期間において営業活動により得られた資金は338,878千円となりました。これは主に、税引前中間純利益81,978千円に、減価償却費224,295千円の非資金損益項目を計上したことによるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間会計期間において投資活動により使用した資金は186,118千円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出168,292千円等があったことによるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間会計期間において財務活動により得られた資金は173,145千円となりました。これは主に、長期借入金による収入762,300千円、短期借入金の借入による収入744,000千円、長期借入金の返済による支出1,156,206千円、リース債務返済による支出126,988千円があったことによるものであります。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の業績予想につきましては、平成28年5月13日に公表しました「平成28年3月期決算短信[日本基準]（非連結）」から変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （1）中間財務諸表の作成に特有の会計処理及び簡便な会計処理の適用

該当事項はありません。

### （2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を当中間会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、これによる当中間会計期間の損益に与える影響は軽微であります。

### （3）追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を当中間会計期間から適用しております。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 中間財務諸表  
 (1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当中間会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	194,738	520,643
売掛金	138,533	184,417
商品	2,764	9,656
原材料及び貯蔵品	6,787	7,319
前払費用	11,807	21,225
繰延税金資産	3,088	7,864
その他	59,760	12,170
貸倒引当金	△656	—
流動資産合計	416,824	763,297
固定資産		
有形固定資産		
建物	3,069,478	3,086,122
減価償却累計額	△543,182	△629,346
建物(純額)	2,526,295	2,456,776
構築物	152,711	153,656
減価償却累計額	△62,186	△68,909
構築物(純額)	90,525	84,747
工具器具及び備品	56,149	67,407
減価償却累計額	△26,914	△30,534
工具器具及び備品(純額)	29,234	36,873
土地	75,462	75,462
リース資産	678,625	872,896
減価償却累計額	△224,283	△341,904
リース資産(純額)	454,341	530,991
建設仮勘定	14,526	139,444
有形固定資産合計	3,190,385	3,324,296
無形固定資産		
ソフトウェア	12,537	11,410
その他	5,390	5,197
無形固定資産合計	17,928	16,607

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当中間会計期間 (平成28年9月30日)
投資その他の資産		
出資金	2,010	2,010
長期前払費用	9,797	22,987
繰延税金資産	29,500	31,134
その他	110,292	136,519
投資その他の資産合計	151,600	192,651
固定資産合計	3,359,913	3,533,555
資産合計	3,776,738	4,296,852



(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当中間会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	43,067	43,109
短期借入金	29,200	723,241
一年内返済予定の長期借入金	214,404	176,523
リース債務	274,010	285,780
未払金	34,576	36,646
未払費用	80,016	91,464
未払法人税等	985	34,394
未払消費税等	5,121	15,151
前受金	3,195	2,604
預り金	9,677	9,577
賞与引当金	10,444	12,514
その他	1,604	4,863
流動負債合計	706,305	1,435,871
固定負債		
長期借入金	2,713,069	2,357,042
リース債務	247,762	329,185
退職給付引当金	6,276	7,346
その他	46,301	56,389
固定負債合計	3,013,409	2,749,963
負債合計	3,719,714	4,185,835

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当中間会計期間 (平成28年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,000	20,000
利益剰余金		
その他利益剰余金		
特別償却準備金	11,598	10,768
繰越利益剰余金	25,425	80,248
利益剰余金合計	37,023	91,017
株主資本合計	57,023	111,017
純資産合計	57,023	111,017
負債純資産合計	3,776,738	4,296,852

## (2) 中間損益計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当中間会計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
売上高		
ホテル事業売上高	786,811	824,719
レンタカー事業売上高	365,905	362,636
その他事業売上高	46,352	98,195
売上高合計	1,199,070	1,285,551
営業原価		
料飲原価	48,251	41,348
商品原価	20,487	45,031
役員報酬及び給与	199,629	214,999
賞与引当金繰入額	10,870	12,514
退職給付費用	699	1,894
その他の人件費	52,457	53,565
販売手数料	74,584	85,715
水道光熱費	57,069	64,732
減価償却費	192,115	224,295
賃借料	163,452	132,081
貸倒引当金繰入額	—	△656
その他	290,621	292,975
営業原価合計	1,110,237	1,168,500
営業利益	88,832	117,050
営業外収益		
受取利息	16	5
その他	1,127	4,028
営業外収益合計	1,143	4,034
営業外費用		
支払利息	40,739	37,613
その他	1,707	1,493
営業外費用合計	42,447	39,106
経常利益	47,529	81,978
税引前中間純利益	47,529	81,978
法人税、住民税及び事業税	11,574	34,394
法人税等調整額	4,794	△6,410
法人税等合計	16,369	27,984
中間純利益	31,159	53,993

## (3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当中間会計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	47,529	81,978
減価償却費	192,115	224,295
貸倒引当金の増減額(△は減少)	—	△656
賞与引当金の増減額(△は減少)	2,340	2,070
退職給付引当金の増減額(△は減少)	699	1,069
受取利息及び受取配当金	△16	△5
支払利息	40,739	37,613
売上債権の増減額(△は増加)	△7,075	△45,883
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,236	△7,423
未収消費税等の増減額(△は増加)	—	27,119
その他流動資産の増減額(△は増加)	△18,489	7,944
仕入債務の増減額(△は減少)	21,024	42
未払消費税等の増減額(△は減少)	△43,933	2,766
その他流動負債の増減額(△は減少)	19,289	16,378
その他	18,942	22,005
小計	270,928	369,314
利息及び配当金の受取額	16	5
利息の支払額	△41,594	△41,544
法人税等の支払額又は還付額(△は支払額)	△31,128	11,102
営業活動によるキャッシュ・フロー	198,222	338,878
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	60	—
有形固定資産の取得による支出	△432,876	△168,292
無形固定資産の取得による支出	△10,699	△768
その他	22,642	△17,057
投資活動によるキャッシュ・フロー	△420,872	△186,118
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の借入による収入	290,010	744,000
短期借入金の返済による支出	—	△49,959
長期借入金の借入による収入	130,000	762,300
長期借入金の返済による支出	△85,992	△1,156,206
リース債務の返済による支出	△134,072	△126,988
財務活動によるキャッシュ・フロー	199,944	173,145
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△22,705	325,905
現金及び現金同等物の期首残高	261,264	194,738
現金及び現金同等物の中間期末残高	238,558	520,643

## (4) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前中間会計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間財務諸 表計上額 (注) 3
	ホテル事業	レンタカー 事業	計				
売上高							
外部顧客に対する 売上高	786,811	365,905	1,152,717	46,352	1,199,070	-	1,199,070
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,754	2,044	3,798	129	3,928	△3,928	-
合計	788,566	367,950	1,156,516	46,482	1,202,999	△3,928	1,199,070
セグメント利益又は セグメント損失(△)	173,833	20,420	194,254	△43,774	150,479	△61,646	88,832
セグメント資産	2,309,681	502,698	2,812,380	1,007,228	3,819,609	-	3,819,609
その他の項目							
減価償却費	75,603	60,822	136,425	55,689	192,115	-	192,115
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	1,050	81,900	82,950	530,277	613,227	-	-

(注) 1. その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、瀬長島ウミカジテラスを含む賃料収入、売店等における商品販売、ホテル外飲食店の飲食物の提供及びその他の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△61,646千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用となります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、中間損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当中間会計期間（自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間財務諸 表計上額 (注) 3
	ホテル事業	レンタカー 事業	計				
売上高							
外部顧客に対する 売上高	824,719	362,636	1,187,355	98,195	1,285,551	-	1,285,551
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,621	1,599	3,220	-	3,220	△3,220	-
合計	826,340	364,235	1,190,576	98,195	1,288,772	△3,220	1,285,551
セグメント利益又は セグメント損失(△)	189,163	38,593	227,757	△49,558	178,198	△61,148	117,050
セグメント資産	2,237,403	551,784	2,789,188	769,484	3,558,672	738,180	4,296,852
その他の項目							
減価償却費	81,242	114,084	195,326	28,969	224,295	-	224,295
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	1,248	199,951	201,199	167,417	368,617	-	368,617

- (注) 1. その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、瀬長島ウミカジテラスを含む賃料収入、売店等における商品販売、ホテル外飲食店の飲食物の提供及びその他の事業を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△61,148千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用となります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、中間損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。